



2016年7月12日

一般財団法人 日本国際協力センター

対日理解促進交流プログラム カケハシ・プロジェクト
(KAKEHASHI Project)
北米地域(米国)への大学生・大学院生派遣プログラム
参加校募集のご案内

I. 事業概要

■概要

「対日理解促進交流プログラム」は、日本政府(外務省)が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有する将来を担う人材を招へい・派遣するものです。カケハシ・プロジェクトは、「対日理解促進交流プログラム」のうち北米地域を対象とした交流事業です。

これまでに実施されたカケハシ・プロジェクトは、下記の外務省HPを参照願います。

外務省HP(カケハシ・プロジェクト)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/page25_000243.html

■目的

日本と北米地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について、被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

■派遣期間・時期

(1)派遣期間:8日間(往復の旅行期間含む、別添2「標準日程案」を参照下さい)

※日本発(水曜日)～日本着(水曜日)のスケジュールとなります。

(2)派遣時期:2016年11月～2017年3月初旬

※別紙1:実施スケジュールをご確認の上、応募申込書に派遣可能時期をご記入ください。

■派遣対象国

米国(ワシントンDC、コロラド州、テキサス州、オハイオ州、ジョージア州、ワシントン州他を予定)

■対象者及び派遣人数

対象者:日本の外交姿勢や日本の魅力を積極的に発信できる大学生・大学院生

人数:550名/計22校

※原則として、1校あたり1グループ25名(学生23名・引率者2名)での応募とする
(詳細はⅢ.募集・選考の応募条件参照)。

II. プログラム

■プログラム内容

- (1) オリエンテーション
- (2) 日本及び米国政府関係機関等表敬訪問
- (3) 市内視察
- (4) 日本紹介プレゼンテーション及び実演(学校交流)
学校交流時、プレゼンテーション、及び実演形式で発表を行う。
例) 外交、歴史、文化、自然、地域の魅力、先端技術、伝統芸能、ポップカルチャー等
- (5) 国際機関訪問、NGO 団体等の訪問・地域活動への参加
- (6) ワークショップ、報告会(気づき及び『アクションプラン』の作成・発表)
※別添 2「標準日程案」を参照下さい
※現地事情によりプログラム内容は変更される可能性があります。
※アクションプランとは、米国で学び、経験したことを元に作成する帰国後の活動計画です。

■事前準備・プログラム中の活動・プログラム事後活動(各自実施・必須)

- (1)事前準備(渡航前)
 - 1) 米国の歴史、文化、政治、経済、宗教、民族等についての事前学習
 - 2) 日本の外交姿勢、歴史、文化、政治、経済、先端技術や在住地域についての事前学習
 - 3) 日本紹介プレゼンテーション及び実演に向けての準備
- (2)プログラム中の活動(滞在中)
 - 1) 米国での気づきを、毎日「気づき」ノートにまとめる
 - 2) プログラム中の様子や日本の魅力を、英語にてブログまたは SNS で発信する
- (3)事後活動(帰国後)
 - 1) アクションプランの実施及び実施報告書の提出
 - ①大学内、付属高校等での報告会を実施
 - ②在住地域での報告会を実施
 - ③日本の魅力を、派遣国(米国)をはじめ英語で世界へ継続発信
 - 2) プログラム直後アンケートの提出(感想文含む)
 - 3) 半年後アンケートの提出(感想文含む)

Ⅲ. 募集・選考

■応募条件

本事業の趣旨を理解し、本事業へ参加できる大学を対象とします。

原則として、以下の条件に適う学生 23 名と引率者 2 名の 25 名 1 組での派遣となります。^{※1}

- (1) 派遣日時点で大学生・大学院生(学生の年齢は 35 歳まで)であること。^{※2}
- (2) 引率者は役割を遂行でき^{※3}、英語でコミュニケーションが取れ、各場面での挨拶等行えること。
- (3) 所属先の許可を得て参加できること。
- (4) 心身ともに健康であること。
- (5) 日本国籍を有していること。あるいは在留資格「永住権」を有するか、特別永住者証明書を有し日本に居住していること。^{※4}
- (6) 本事業の趣旨を理解し、英語でプレゼンテーションを行い、積極的に交流し、米国の対日理解のための情報(外交姿勢や日本の強み・魅力等)を積極的に発信できること。
- (7) 米国に興味・関心があり、同地域について学ぶ意欲あり、積極的に交流し、コミュニケーションをとることができること。
- (8) 出発前に積極的に当該プログラムについて学び、事前課題に取り組み、また、帰国後、学内または地域内でプログラムの成果を生かした活動を行うこと。またブログやSNSを利用し、英語でそれらの活動や日本についての情報発信を行うこと。
- (9) 規律ある団体行動ができること。JICE 規定のルール(自由行動不可、門限有)に従うことができること。
- (10) 語学力(英語)は選考の際の参考とする。
- (11) 「プログラム中の責任範囲」に同意すること。
- (12) 「個人情報利用同意書」に同意すること。

^{※1} 応募時点では、引率者及び学生の個人を特定する必要はありません。様式①・②のみご提出ください。

派遣決定後、学校内で選出いただき、引率者及び参加者にエントリーフォーム等の提出をお願いします。

また、参加者(引率者・学生)は過去に日本政府による派遣事業(JENESYS(2.0、2015 含む)、内閣府青年の船事業、キズナ強化プロジェクト、KAKEHASHI Project 等への参加経験がない者とします。

^{※2} 留学中や留学予定の学生については、事前学習・事前準備をチーム内でしっかりと行うため、派遣日直前に帰国することのないようご注意ください。

^{※3} 同行する引率者には以下の役割を行っていただきますので、引率者選考の際に御留意下さい。

- ・プログラムの目的を把握し、日本政府代表としての責任と誇りを持つ
- ・事前課題、現地プログラム、プログラム中の SNS 等を使用した発信、事後課題(アクションプラン・アンケート)、帰国後の本事業への参加経験や、日本の魅力の継続発信等に積極的に取り組むよう、学生にリマインドし、JICE への実施報告書提出等の手助けを行う。
- ・スタッフからの指示を参加学生に連絡・調整を行う
- ・プログラム規則(身だしなみ、自由行動禁止、門限厳守、集合時間厳守)を守ると共に、守らない学生がいる場合には注意の上対応する。
- ・米国の受入れ機関(表敬先、視察先、交流校)等への挨拶を行う(英語)
- ・体調不良者発生などの緊急時には、スタッフと協力し対応する

^{※4} 永住者及び特別永住者(日本居住者)については、エントリーフォームと一緒に証明書(両面)のコピーを提出してください。外務省へ確認を取った後、参加の可否が決定いたします。

【注】 カケハシ・プロジェクト等の青少年交流事業において、米国との学校交流を受入れた実績、または今後本事業の招へい受入にご協力いただける学校を優先します。

■プログラム費用

本事業で負担する経費

- ・日本を出国する国際空港～派遣国 往復国際航空賃
- ・米国滞在中宿泊費
- ・米国滞在中食費
- ・米国内移動交通費
- ・施設/拝観料
- ・海外旅行傷害保険料

参加者が負担する経費は上記の経費以外のすべて（以下はあくまで例示）

- ・自宅～日本を出入国する国際空港間の往復交通費
(例：自宅～成田空港は自己負担、成田空港～米国は事業費負担)
- ・フライト時間により、国際線出発・到着空港付近で前泊・後泊が必要となる場合の宿泊費
- ・ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費
(インターネット、電話、ミニバー、クリーニング等)
- ・超過荷物輸送料（航空機）
- ・ESTA（アメリカ電子渡航認証）に係る費用（約14ドル）
- ・パスポート取得費
- ・表敬先、訪問先、交流校への記念品・お土産代
- ・その他（個人の土産代、主催者で費用負担する旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料や、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、本事業負担に含まれない費用）

■応募方法

所定の申請書式に記入の上、以下の宛て先にご提出ください（郵送（必着）またはメール添付）。

封筒の表に「カケハシ・プロジェクト大学生・大学院生派遣応募書類在中」と記入願います。

(1) 応募申込書(大学用) (様式①・②)

- ※ 応募申込書は当センターホームページよりダウンロードできます。
- ※ 個人の申込書は貴校が参加決定となった後、参加者を決定の上、提出して下さい。
- ※ 旅券を持っていない参加者は参加決定となった後、早急に旅券を申請・取得し、写真ページのコピーを提出して下さい。期日通りに旅券の提出がない場合、航空券やホテルの予約ができないため、参加をお断りする場合があります。

■応募先／問合せ先

〒163-0716

東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル16階

一般財団法人 日本国際協力センター 国際交流部青少年交流課 KAKEHASHI 派遣担当

電話: 03-6838-2730 FAX: 03-6838-2731 Email: jicekakehashi@jice.org

※お問合せの際には「KAKEHASHI 大学生派遣事業」の問い合わせである旨をお知らせください

■応募締め切り

2016年8月15日(月) 17:00 必着

■審査結果通知

書類選考終了後、合否結果を各校のご担当者様にメールにて連絡いたします。

なお、ご提出いただきました応募書類は、返却いたしませんので、ご承知おき下さい。

(合否判定に係る個別のお問い合わせには、お答えできません)

2016年8月15日(月)17時

応募締め切り

8月中旬～下旬

書類審査実施、選考結果連絡

9月上旬～中旬

説明会実施(予定)

11月下旬

大学生派遣1陣実施(予定)

IV. プログラム中の責任範囲

- (1) 各国の事情等やむを得ない事由により、旅程や宿泊先が変更される場合があります。
- (2) 実施団体(JICE)は、派遣中、派遣団の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消し、帰国を命じる場合があります。参加取り消しによって生じる費用は、当該者に請求する場合があります。
- (3) 派遣時期の延長又は中止により個人の費用負担が発生した場合や、第三者(航空会社、ホテル等宿泊施設およびレストランを含む)のいかなる行動または過失、並びに参加者に対する損害及び所持品に対して、JICEは一切の責任を負いません。
- (4) プログラムは、現地の在外公館等と治安状況を確認・判断の上実施致しますが、大学側も安全管理面に問題ないと判断し、本プログラムに参加頂くこととしておりますので、第一義的には安全管理の責任は大学等にあると考えております。万が一事故等が起きてしまった場合、現地へ大学関係者・保護者を派遣する等の対応については、大学側にお願いをいたします。(JICEで加入する海外旅行保険には、救援者費用が含まれておりますが、対象となるかどうかは保険会社の判断となります)JICEは、現地日本総領事館等の在外公館と協力し、各種手配のお手伝い等、出来る限りの後方支援をいたします。

■一般財団法人日本国際協力センター(JICE)とは■

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、1977年の設立以来、主に開発途上国を対象とした国際協力事業に関する業務を行ってまいりました。現在は開発途上国のみならず、我が国と諸外国との互惠関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与することを目的とした事業を行っています。

主な事業は、外務省をはじめとする中央官庁、独立行政法人国際協力機構(JICA)、大学、地方自治体、公益法人、企業、国際機関および外国政府などの国際研修運営、国際交流、留学生受入支援、通訳派遣、日本語研修、コンベンション・セミナー、プロジェクト支援、開発教育支援事業です。

JICEでは254名の事務スタッフに加え、31言語に対応した1095名の専門スタッフが、これまでの経験・知見を十分に活かして、各事業の案件形成、調査、研究、実施及び評価を行っています。

JICEは「知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。」をキャッチフレーズに、心と言葉で「日本の技術・知識・経験」をつなぎ、世界の人々と、共に学びあい、理解を深めながら、各国の将来を担う人材育成に取り組んでいます。



KAKEHASHI Project 大学生派遣実施スケジュール

派遣期間 (全て、水曜出発・水曜帰国)	派遣先(予定)	参加者人数 (引率者含む)
(第1期) 2016年11月	Washington D.C. (ワシントンD.C.) State of Colorado (コロラド州) State of Texas (テキサス州) State of Ohio (オハイオ州) State of Georgia (ジョージア州) State of Washington (ワシントン州) 他を予定	各校25名 × 22校 計550名
(第2期) 2016年12月上旬		
(第3期) 2017年2月		
(第4期) 2017年3月初旬		

(注意事項)

- 【1】 550名(22校)を複数のグループに分けて米国へ派遣する予定です。応募用紙へ参加可能時期を記載して下さい。派遣先の州については、現在時期を調整中ですので、現時点では未定となります。
- 【2】 国際線出発空港は、成田・羽田・関西国際・中部国際空港のいずれかとなりますが、乗り継ぎ時間、現地到着時間を優先に、大学毎ではなくグループ毎に手配をしますので、在住エリアから遠くなる場合があります。
- 【3】 フライト時間によっては、出発日前日に空港付近に集合いただく可能性があります。
- 【4】 日本国内・アメリカ国内でも乗継が発生することがあり、移動に時間を要します。
- 【5】 復路の日本帰国日、交通機関が終了し、当日中に帰宅出来ない可能性もあります。事前にフライト情報をご連絡しますので、宿泊施設を手配されるなど、大学毎でご検討下さい。

**対日理解促進交流プログラム (KAKEHASHI Project)
全体日程(案) 【大学生/大学院生派遣】7泊8日**

※フライト時間により、集合時間が早朝になる場合、帰国日の到着が夜となる場合があります

No.		プログラム	ねらい
1日目 (水)	午前～ 午後	成田/羽田/関西国際/中部国際空港集合、 渡航説明・健康状態確認	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。また米国での安全管理・健康管理について確認する。
		離日【成田/羽田/関西/中部国際空港発 → 米国着(国内線乗継含む)】	
2日目 (木)	午前	プログラムオリエンテーション 【表敬】日本・米国政府関係機関 【視察】日本・米国企業等	米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。また、米国政府機関等を表敬訪問し、日本の若者の代表として、事業のミッションについて説明する。
	午後	【大学交流他】① ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 (経済・産学・歴史・自然・文化等) ・米国学生からの米国紹介プレゼンテーション ・米国学生とのディスカッション	米国の同世代の青少年に対し、日本の経済・産学・歴史・自然・文化などについてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、米国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。
3日目 (金)	終日	【大学交流他】② ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 (経済・産学・歴史・自然・文化等) ・米国学生からの米国紹介プレゼンテーション ・米国学生とのディスカッション	米国の同世代の青少年に対し、日本の経済・産学・歴史・自然・文化などについてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、米国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。
4日目 (土)	終日	【歴史的・文化的施設訪問】	米国の代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本と米国との歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本と米国との関係を考察する一助とする。
5日目 (日)	終日	【視察】市内・郊外視察/地域活動への参加/ 日本関連行事への参加/その他	都市部と違う郊外の様子の見学や、ボランティアなどの地域活動に参加し、米国理解の一助とする。
6日目 (月)	午前	【ワークショップ】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、報告する内容をまとめる。
	午後	報告会準備 【報告会/歓送会】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案について、日本国総領事館・米国政府・交流学校関係者等に報告する。
7日目 (火)	午前～ 午後	帰国準備	
		【米国発(国内線乗継含む) → 成田/羽田/関西国際空港/中部国際空港着】	
8日目 (水)	午前～ 午後		帰国 解散